

## 1. 大臣ステートメント

合同セッション(イノベーション) 開会ステートメントにおいて、原田環境大臣より、『我が国は、**宇宙空間での新たな課題スペースデブリへの対応でも世界をリード**しながら、「いぶき2号」のデータを活用し、各国の気候変動対策の透明性向上に貢献』する旨発言。



## 2. 外部有識者によるプレゼンテーション

JAXA山本副理事長より、閣僚列席のランチセッションにて、地球環境観測における人工衛星の有用性と併せて、スペースデブリ対策が喫緊の課題であることを説明し、これらの分野における我が国の先進的取組をアピール。

## 3. 展示による各国閣僚及び一般への発信

6月14日(金)～16日(日)、軽井沢駅前に設営された展示エリアにおいて、宇宙・衛星観測等に関するコーナーを設置。アストロスケール社及びJAXAの協力を得てスペースデブリへの我が国の取組を発信。

会合に先立ち両大臣が各国の大臣・代表を連れて展示エリアを視察・紹介。

